

平成28年度 学校経営方針

北九州市立東谷中学校

校長 勝山 優子

校訓 博愛(めぐみ) 勤労(つとめ) 自律(じりつ)

- 広い心で全てを平等に藍氏、助け合い、協力し合うこと
- 正義感と奉仕の心を持ち、心身ともに健康で、自分から労を惜しまず、働くこと
- 自らの力で考え、見通しを立てて、積極的に実践し、未来を切り開くこと

1 学校教育目標

何事にも全力で取り組む、思いやりのある生きる力をもった生徒の育成

2 めざす生徒像

- すすんで学び、基礎的な学力・体力を身に付けた生徒
- 心豊かに、自他の命を大切にし、相手を思いやることのできる生徒
- 自分から すすんであいさつし きまりを守る生徒
- 何事にも全力で一生涯懸命に取り組む自らの未来を創造する生徒

やる気の花

おもいやりの花

あいさつの花

未来への花 を満開にする。

3 めざす学校像

明るく 活気に満ち 生徒の笑顔が輝く
保護者・地域に信頼される学校

生徒にとっては 「行きたい学校」

保護者にとっては 「行かせたい学校」

地域住民にとっては 「行ってみたい学校」

教職員にとっては 「働きたい学校」 にする。

4 めざす教職員像

- 生徒のよさを見抜く教職員
- 生徒の力を伸ばすために、日々の授業を地道に大切にする教職員
- 生徒に命の大切さを伝える教職員
- 生徒に明るく接し、温かい言葉をかける教職員
- 生徒と共に汗や涙を流す教職員

生徒に深い愛情をもつ、

プロの教職員集団 になる。

5 本年度の学校経営の重点

一時間一時間の「授業」の中に、教育のすべてがある。

(1) 生徒が主役となる楽しい学校

授業、諸行事、分掌した業務、研修等、つねに「生徒の側から」の視点を持ち、工夫改善を行う。学級経営を中心として、生徒の活動の事前・事後の指導を充実させることにより、感動や満足感、充実感が生まれるようにする。生徒の活躍を認めることにより、自己肯定感を高め、やる気に満ちた学校にする。

(2) 確かな学力の向上を図る教育の充実

生徒の学力の状況を的確に把握・分析し、個に応じた指導を積極的に進め、確かな学力の向上に努める。考えさせる学習指導を構成する。(知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視した学習指導) **全教科において、話す、聞く、書く、読むなどの言語活動を充実させる。話し合い活動や「なぜ」、「どうして」を大切に授業を工夫する。(学力向上アドバイザー、すべての教師のための授業改善ハンドブックの活用)**

家庭での学習時間を充実させる。(東谷ノートの自主学習と課題の点検)

(3) 心の育ちをはぐくむ教育の充実

心の教育を中核にし、人権意識の高揚と確かな人権感覚を身に付ける人権教育を推進する。**道徳の時間が生徒の心に響く時間**になるようにする。命の大切さに気付かせ、いじめを「させない、見逃さない、許さない」という態度で指導にあたる。

よりよい人間関係をはぐくむ**対人スキルアッププログラム**を 全学年 学期に1～2回は実施。

(4) 体力向上及び健康・安全教育の充実

体力向上推進計画の作成と実施。生涯にわたって心身ともに健康で安全な活力ある生活を送るために基礎体力を身に付け、体力向上を目指す。生徒指導と連携し、教育活動全般にわたる健康・安全教育の推進にあたる。けが・事故発生時の迅速対応。交通安全教育の実施。自転車通学生徒への交通ルール・マナーの徹底。学校給食を通して「食育」に取り組む。

(5) 新設の特別支援学級を中心にした特別支援教育の充実。

新設特別支援学級のスムーズな立ち上げと個に応じた指導計画の作成、学習指導方法の工夫。